

Iwatani

2024年3月期第2四半期 決算説明資料

(見通しに関する注意事項)

将来にわたる部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。
当然のことながら、予想と違う結果と成ることがあることを十分にご認識の上ご活用ください。

2023年11月17日
岩谷産業株式会社

〔証券コード 8088〕

目次

1. 2024年3月期第2四半期 決算実績

- 決算ハイライト
- 連結経営成績（減収分析）
- 連結経営成績（増益分析）
- 連結経営成績（セグメント別）
- セグメント別営業利益分析
- 貸借対照表（連結）
- キャッシュ・フロー計算書

2. 2024年3月期 通期業績予想

- 通期業績予想
- セグメント別見通し
- 株主還元について

3. 中期経営計画「PLAN27」の進捗

- 「PLAN27」の概要
（2023～2027年度）
- 「PLAN27」の進捗（重点施策）

2024年3月期第2四半期 決算実績

2024年3月期第2四半期 決算ハイライト

▶ 売上高は減収。LPガス市況要因がマイナス影響となるものの、工業分野向け商品が堅調に推移し、営業利益は増益、過去最高益を更新。

2024年3月期第2四半期 決算概要

- 売上高は、LPガスが輸入価格の低位推移と販売数量減少となったことに加え、二次電池材料の販売が低調に推移したこと等により、減収。
- 営業利益は、LPガス市況要因のマイナス影響があったものの、産業ガス・機械事業を中心に工業分野向け商品が堅調に推移し、増益。
- 通期業績予想：変更なし

売上高

3,942億円

前年同期比 ▲190億円 (▲4.6%)

営業利益

145億円

前年同期比 +2億円 (+1.9%)

経常利益

181億円

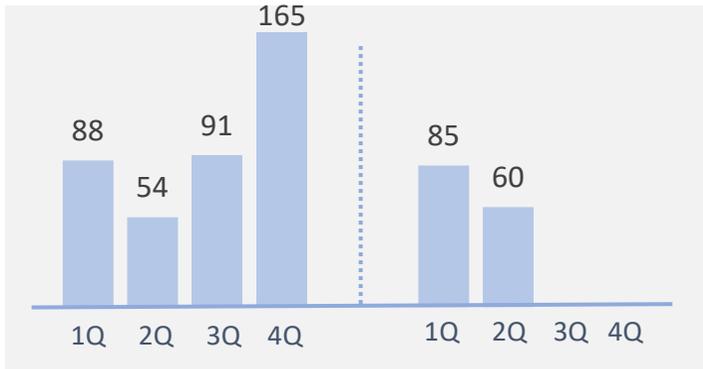
前年同期比 ▲1億円 (▲0.7%)

四半期純利益

120億円

前年同期比 ▲5億円 (▲4.3%)

■ 営業利益 四半期推移 (億円)



23/3月期※

24/3月期

※前連結会計年度：企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を反映

連結経営成績（減収分析）

（単位：億円）

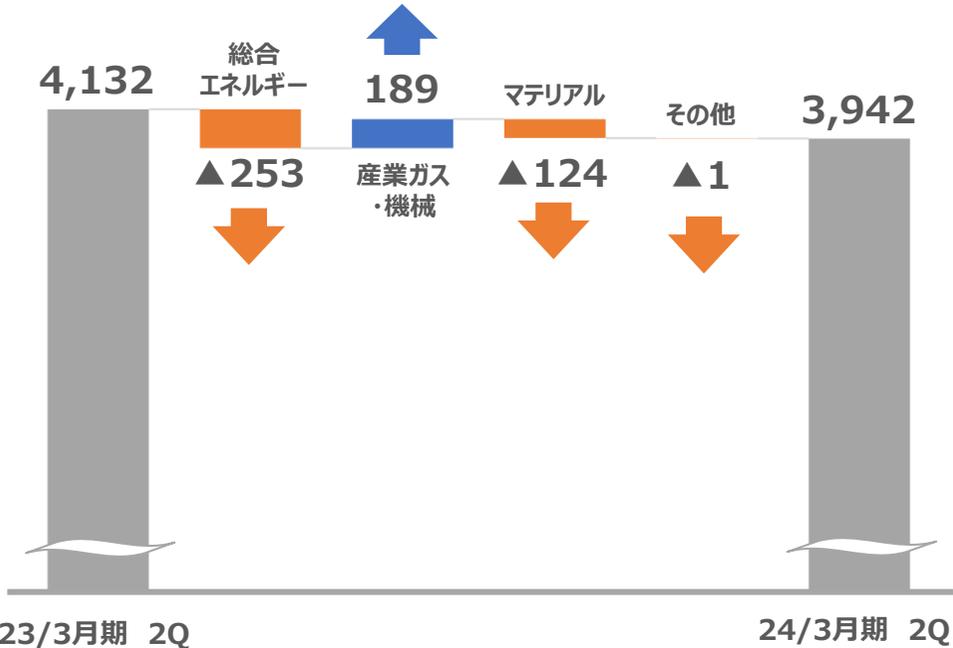
	2024/3月期 2Q 実績	2023/3月期 2Q 実績※	増減額 (増減率)	2024/3月期 通期予想	進捗率
売上高	3,942	4,132	▲190 (▲4.6%)	9,070	43.5%
売上総利益	1,009	981	+27 (+2.8%)	—	—
営業利益	145	143	+2 (+1.9%)	450	32.4%
市況要因除く 営業利益	197	137	+59 (+43.1%)	450	43.8%
営業外損益	35	39	▲3 (▲9.8%)	—	—
経常利益	181	183	▲1 (▲0.7%)	503	36.2%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	120	126	▲5 (▲4.3%)	335	36.0%

※前連結会計年度：企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を反映

減収要因

- LPガス輸入価格が低位に推移、気温高の影響等により販売数量も減少
- 工業分野向け商品は堅調に推移
- 販売先の在庫調整により二次電池材料の販売減少

■ 売上高



連結経営成績（増益分析）

（単位：億円）

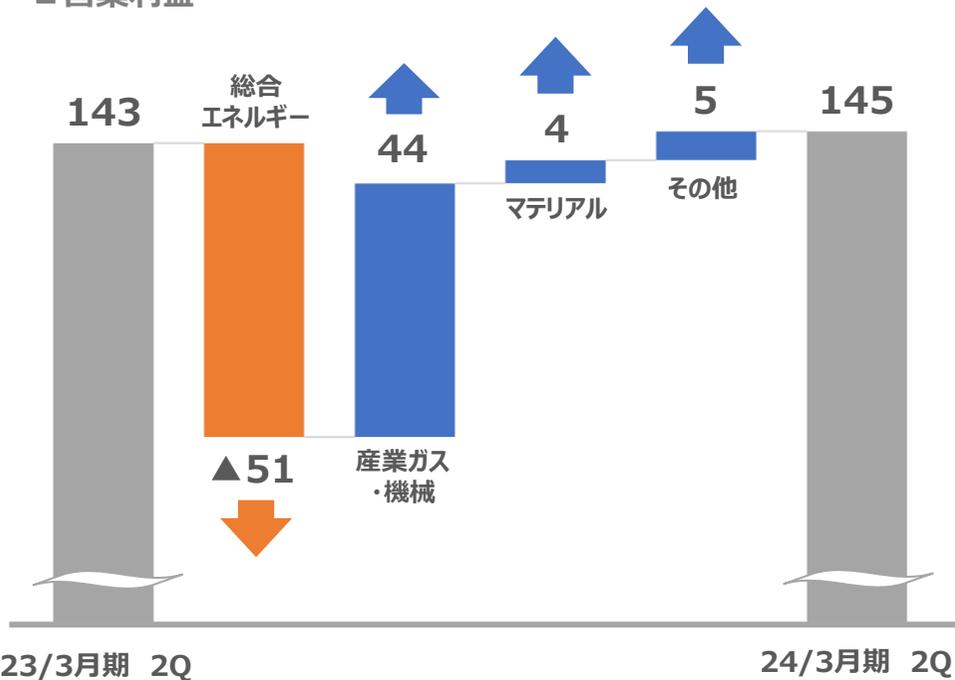
	2024/3月期 2Q 実績	2023/3月期 2Q 実績※	増減額 (増減率)	2024/3月期 通期予想	進捗率
売上高	3,942	4,132	▲190 (▲4.6%)	9,070	43.5%
売上総利益	1,009	981	+27 (+2.8%)	—	—
営業利益	145	143	+2 (+1.9%)	450	32.4%
市況要因除く 営業利益	197	137	+59 (+43.1%)	450	43.8%
営業外損益	35	39	▲3 (▲9.8%)	—	—
経常利益	181	183	▲1 (▲0.7%)	503	36.2%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	120	126	▲5 (▲4.3%)	335	36.0%

※前連結会計年度：企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を反映

増益要因

- 営業利益は、LPガス市況要因が対前年同期でマイナスとなったものの、工業分野向け商品が堅調に推移し、増益
- 営業外損益は、持分法投資利益の減少、支払利息の増加などにより、対前年同期で減少し、経常利益、四半期純利益は減益

■ 営業利益



連結経営成績（セグメント別）

	2024/3月期 2Q 実績	2023/3月期 2Q 実績※	増減額	増減率	2024/3月期 通期見通し	進捗率
売上高	3,942	4,132	▲190	▲4.6%	9,070	43.5%
■ 総合エネルギー事業	1,433	1,686	▲253	▲15.0%	3,980	36.0%
■ 産業ガス・機械事業	1,268	1,079	+189	+17.6%	2,592	48.9%
■ マテリアル事業	1,085	1,210	▲124	▲10.3%	2,202	49.3%
■ その他	155	156	▲1	▲1.1%	296	52.4%
営業利益	145	143	+2	+1.9%	450	32.4%
■ 総合エネルギー事業	▲11	39	▲51	—	180	—
■ 産業ガス・機械事業	108	64	+44	+69.5%	175	62.0%
■ マテリアル事業	62	57	+4	+8.1%	123	50.9%
■ その他・調整額	▲13	▲17	+4	—	▲28	—
市況要因を除く営業利益	197	137	+59	+43.1%	450	43.8%
経常利益	181	183	▲1	▲0.7%	503	36.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	120	126	▲5	▲4.3%	335	36.0%

※前連結会計年度：企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を反映

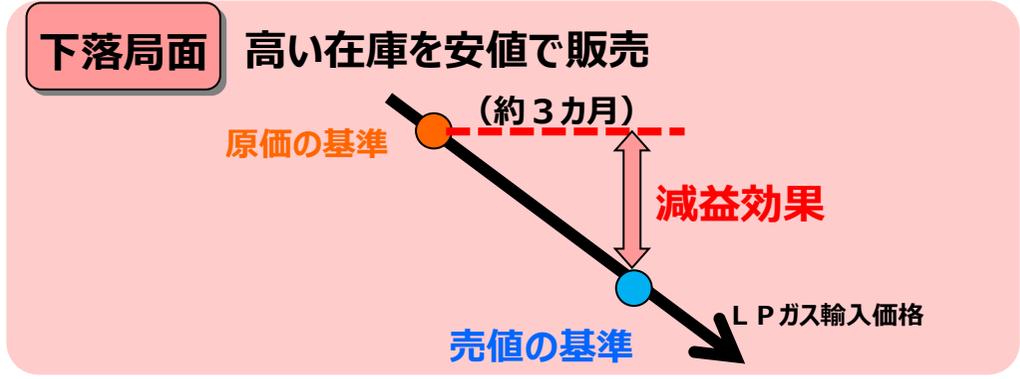
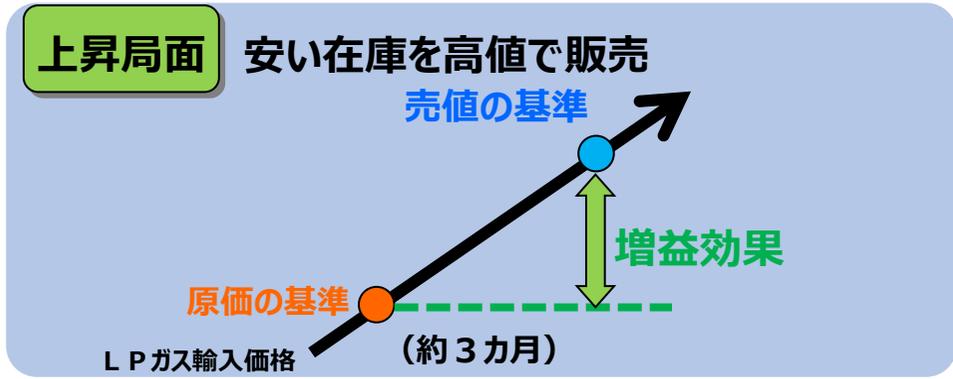
Copyright © Iwatani Corporation. All rights reserved.

LPガス輸入価格の変動による増減益効果（イメージ）



LPガス輸入価格が変動 → 短期的に業績に影響が生じる（市況要因の発生）

（LPガス輸入価格が元の水準に戻れば影響はゼロ）※



※ 在庫量・販売時期・販売数量によって実際の業績への影響は変動します

セグメント別営業利益分析（総合エネルギー事業）

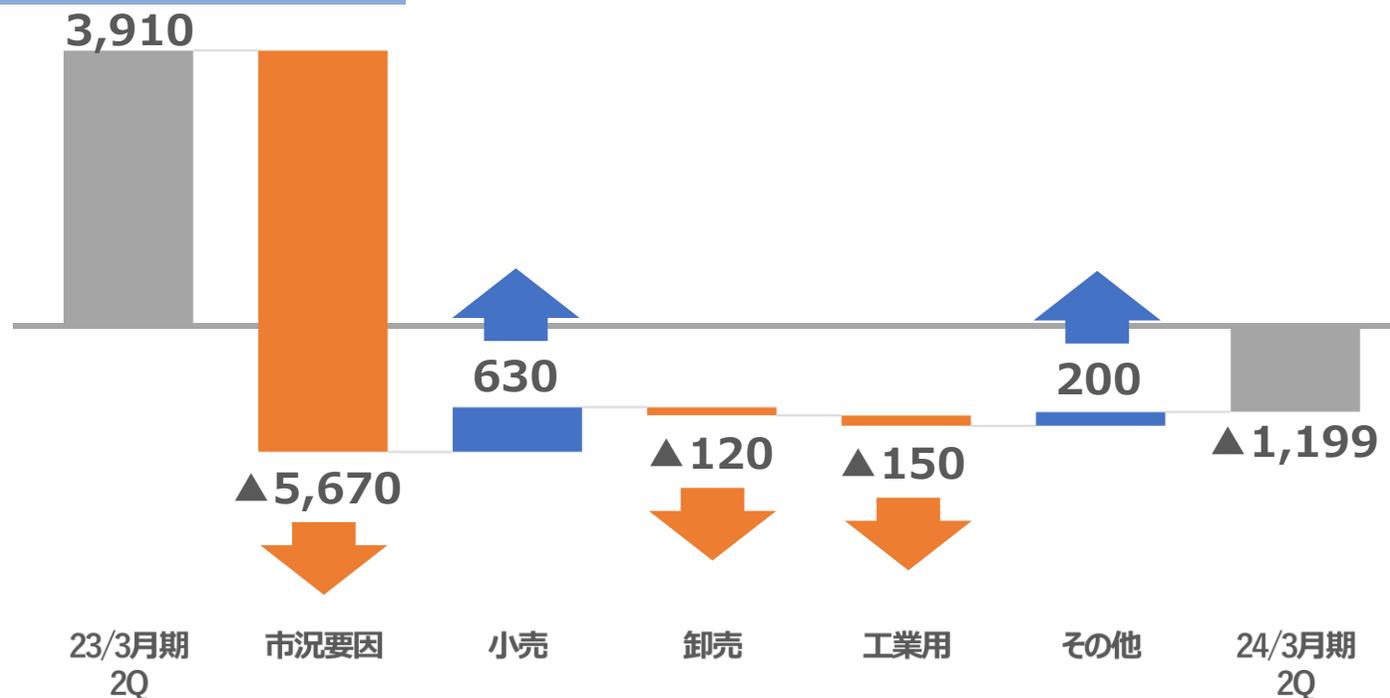
決算実績

(単位：億円)

	2024/3月期 2Q 実績	2023/3月期 2Q 実績	増減額	増減率	2024/3月期 通期見通し	進捗率
売上高	1,433	1,686	▲253	▲15.0%	3,980	36.0%
営業利益	▲11	39	▲51	—	180	—
市況要因除く 営業利益	39	33	+5	+16.7%	180	21.9%

営業利益増減分析

(単位：百万円)



主な営業利益増減要因

(単位：百万円)

■市況要因 ▲5,670

(億円)	1Q	2Q	上期 累計	3Q	4Q	通期 累計
当期	▲17.3	▲34.0	▲51.3	-	-	-
前期	+20.4	▲15.0	+5.3	▲29.3	▲7.3	▲31.3
差異	▲37.7	▲19.0	▲56.7	-	-	-

■小売 +630

- ・LPガスの収益性が改善

■卸売 ▲120

- ・バーター取引解消に伴い販売数量が減少

■工業用 ▲150

- ・増熱用LPガスの需要が減少

■その他 +200

- ・ガス保安機器等が堅調

セグメント別営業利益分析（産業ガス・機械事業）

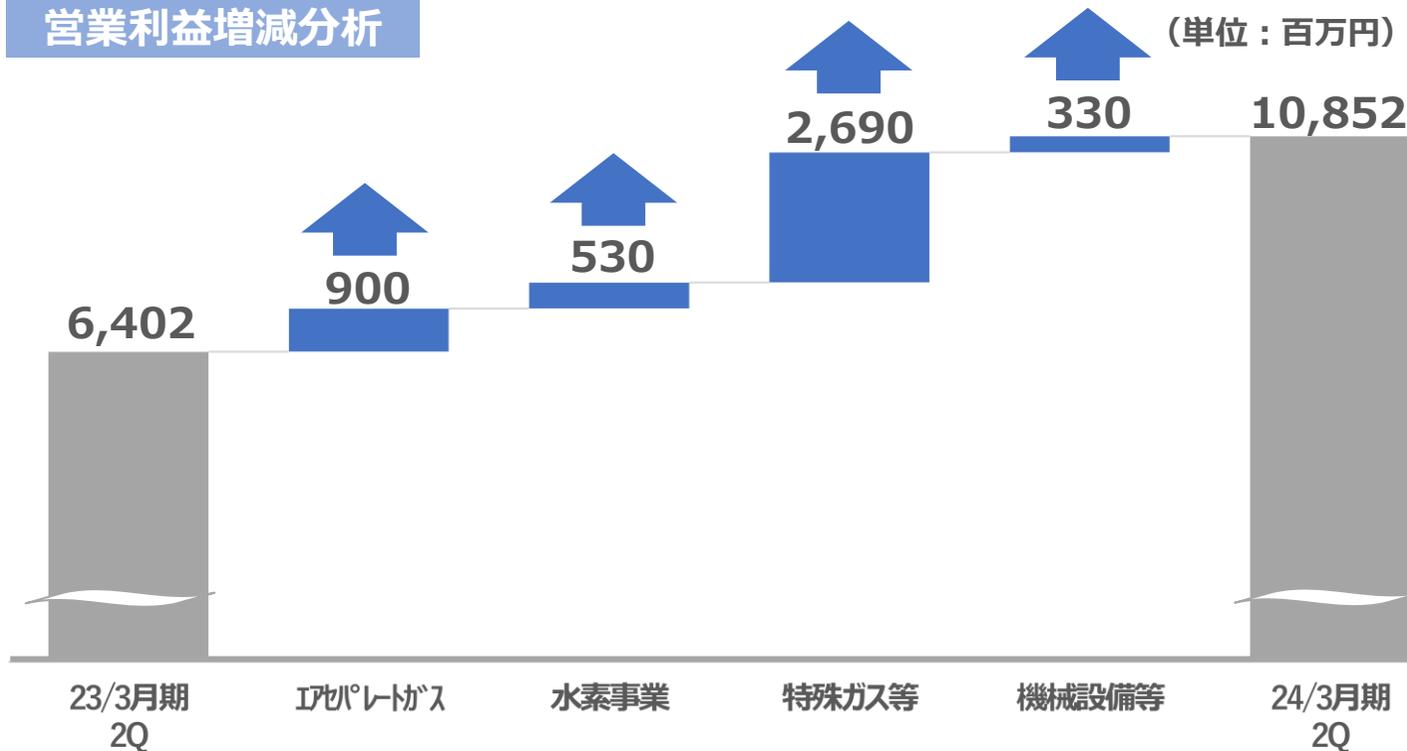
決算実績

（単位：億円）

	2024/3月期 2Q 実績	2023/3月期 2Q 実績	増減額	増減率	2024/3月期 通期見通し	進捗率
売上高	1,268	1,079	+189	+17.6%	2,592	48.9%
営業利益	108	64	+44	+69.5%	175	62.0%

営業利益増減分析

（単位：百万円）



主な営業利益増減要因

（単位：百万円）

- エアセパレートガス +900**
 - ・電子部品業界向けを中心に販売数量が減少
 - ・製造コスト増加への対応
- 水素事業 +530**
 - ・半導体業界向けを中心に販売数量が減少
 - ・製造コスト増加への対応
- 特殊ガス等 +2,690**
 - ・飲料、化学業界向けを中心に炭酸ガスの販売が堅調
 - ・ヘリウムの安定調達および安定供給
- 機械設備等 +330**
 - ・パワー半導体向け設備が伸長
 - ・ガス供給設備の販売が増加

セグメント別営業利益分析（マテリアル事業）

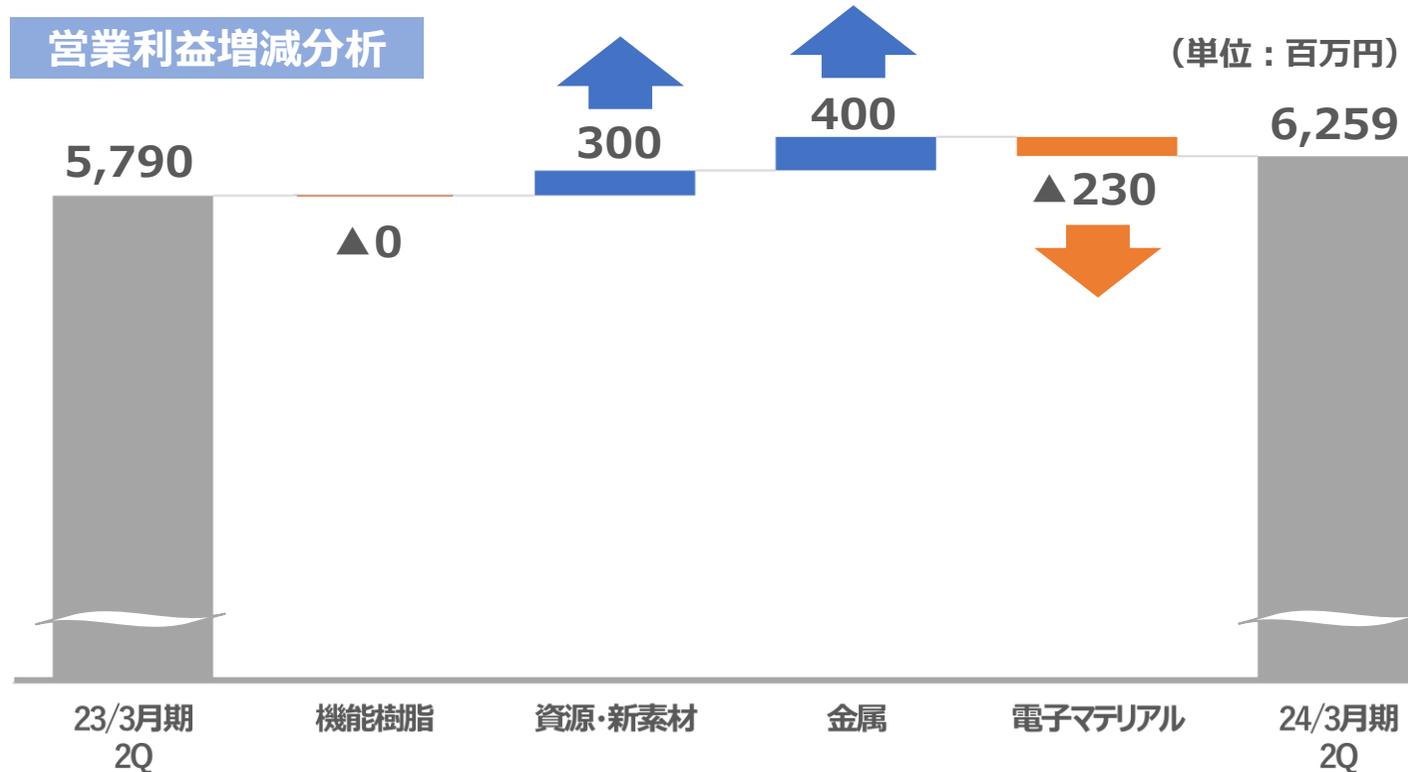
決算実績

（単位：億円）

	2024/3月期 2Q 実績	2023/3月期 2Q 実績	増減額	増減率	2024/3月期 通期見通し	進捗率
売上高	1,085	1,210	▲124	▲10.3%	2,202	49.3%
営業利益	62	57	+4	+8.1%	123	50.9%

営業利益増減分析

（単位：百万円）



主な営業利益増減要因

（単位：百万円）

- 機能樹脂 ▲0
 - ・飲料ボトル向けPET樹脂の販売増加
 - ・樹脂製品等の販売低調
- 資源・新素材 +300
 - ・海外ミネラルサンド事業が拡大
 - ・バイオマス燃料の販売増加
- 金属 +400
 - ・ステンレスが堅調に推移
 - ・エアコン向けを中心とする金属加工品が伸長
- 電子マテリアル ▲230
 - ・ユーザーの在庫調整等により次世代自動車向け二次電池材料の販売数量が減少

貸借対照表（連結）

- 売上債権は減少したものの、設備投資の実施等による有形固定資産や投資有価証券等の増加により総資産は増加。
- 国内・海外での設備投資等に対する資金調達により有利子負債が増加。

（単位：億円）

	2023年 9月末	2023年 3月末	前期末比 (増減額)	主な増減理由・備考
流動資産	2,883	3,031	▲148	売上債権の減少
（有形固定資産）	2,139	2,074	+64	
（無形固定資産）	373	368	+5	
（投資その他の資産）	1,304	1,085	+219	保有株式の時価評価による投資有価証券の増加等
固定資産	3,817	3,528	+289	
総資産	6,701	6,560	+141	
（流動負債）	2,056	2,124	▲67	買入債務の減少
（固定負債）	1,344	1,313	+31	
負債	3,401	3,437	▲36	有利子負債 1,610億円（+215億円） 有利子負債依存度 24.0%
（自己資本）	3,193	3,019	+173	自己資本比率 47.7%
（非支配株主持分）	106	102	+4	
純資産	3,299	3,122	+177	
負債・純資産	6,701	6,560	+141	

キャッシュ・フロー計算書

- 営業キャッシュ・フローは98億円の収入。投資キャッシュ・フローは、積極的な投資等により298億円の支出となり、結果、フリー・キャッシュ・フローは200億円の支出。

(単位：億円)

	2024年3月期 中間実績	2023年3月期 中間実績	前年差 (増減額)
営業キャッシュ・フロー	98	▲5	+103
投資キャッシュ・フロー	▲298	▲350	+51
フリー・キャッシュ・フロー	▲200	▲355	+155
財務キャッシュ・フロー	125	366	▲240
換算差額等 ※1	10	24	▲13
現預金等の増減額 ※2	▲63	35	▲98
現預金等の期首残高	332	295	+36
現預金等の期末残高	268	330	▲62

※1 「換算差額」「連結の範囲の変更に伴う増減額」「非連結子会社との合併に伴う増加額」の合計を表示しております

※2 「現預金等の期首残高」と「現預金等の期末残高」の差額を表示しております

2024年3月期 通期業績予想

2024年3月期 通期業績予想

(単位：億円)

	2024/3月期 予想	2023/3月期 実績	増減額	増減率
売上高	9,070	9,062	+7	+0.1%
■ 総合エネルギー事業	3,980	3,932	+47	+1.2%
■ 産業ガス・機械事業	2,592	2,404	+187	+7.8%
■ マテリアル事業	2,202	2,424	▲222	▲9.2%
■ その他	296	302	▲6	▲2.0%
営業利益	450	400	+49	+12.4%
■ 総合エネルギー事業	180	143	+36	+25.9%
■ 産業ガス・機械事業	175	165	+9	+5.7%
■ マテリアル事業	123	126	▲3	▲2.4%
■ その他・調整額	▲28	▲34	+6	—
市況要因を除く営業利益	450	431	+18	+4.2%
経常利益	503	470	+32	+7.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	335	320	+14	+4.6%

・期初予想からの変更：なし
(2023年5月15日公表)

想定レート

為替 125円/\$L P ガス輸入価格 700\$ / トン

(2022年度実績)

為替 133.7円/\$L P ガス輸入価格 725\$ / トン

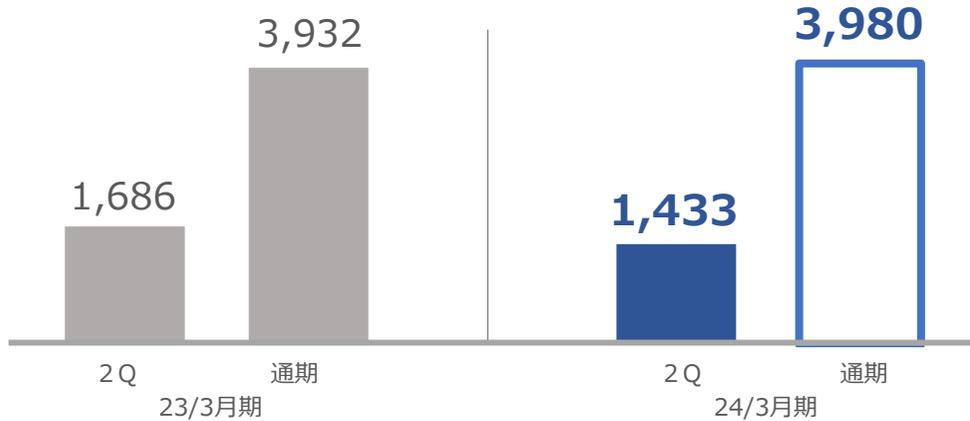
配当予想

2024年3月期 95円/株

総合エネルギー事業の見通し

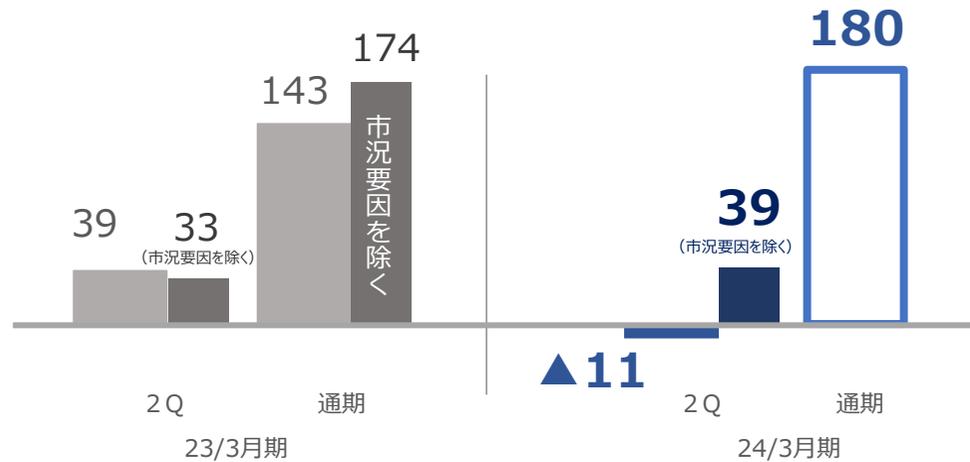
売上高

業績見通しの変更：なし (単位：億円)



営業利益

(単位：億円)



通期業績予想の達成に向けて

・LPガス事業の拡大

- ・ M&Aを中心とした直売顧客数の拡大による、LPガス販売数量の増加
- ・ お客様の低・脱炭素化に繋がる燃料転換の推進とカーボンオフセットLPガスの拡販

・エネルギー関連機器等の拡販

- ・ カーボンニュートラル商材（エネファーム、太陽光、蓄電池等）の拡販
- ・ BCP対策に向けたLPガス非常用発電機やGHPの拡販
- ・ 集中監視システム等のガス保安機器の拡販

・カートリッジガス事業の拡大

- ・ 国内では、調理や暖房用途など、需要の着実な取り込み
- ・ 海外では、中国に加え、タイの新工場を起点とし、東南アジアを中心に販売を強化

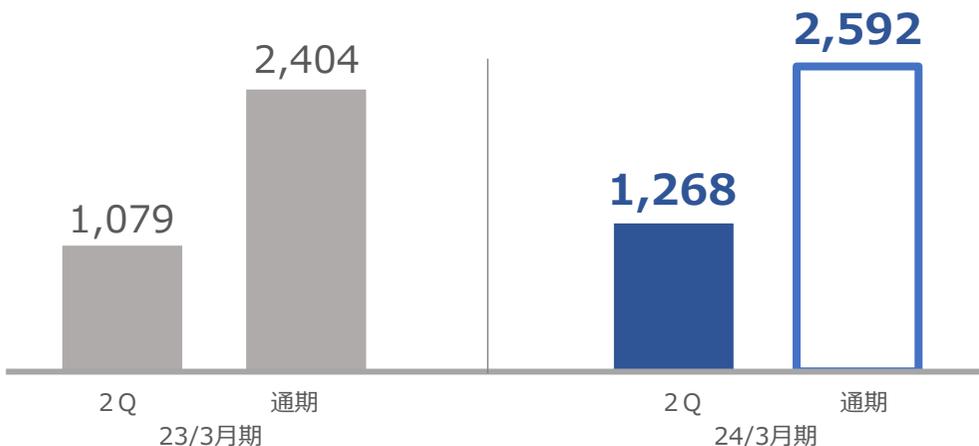
業績が変動する主な要因

- ・ LPガス輸入価格、為替の変動
- ・ 気温高によるLPガス販売数量への影響

産業ガス・機械事業の見通し

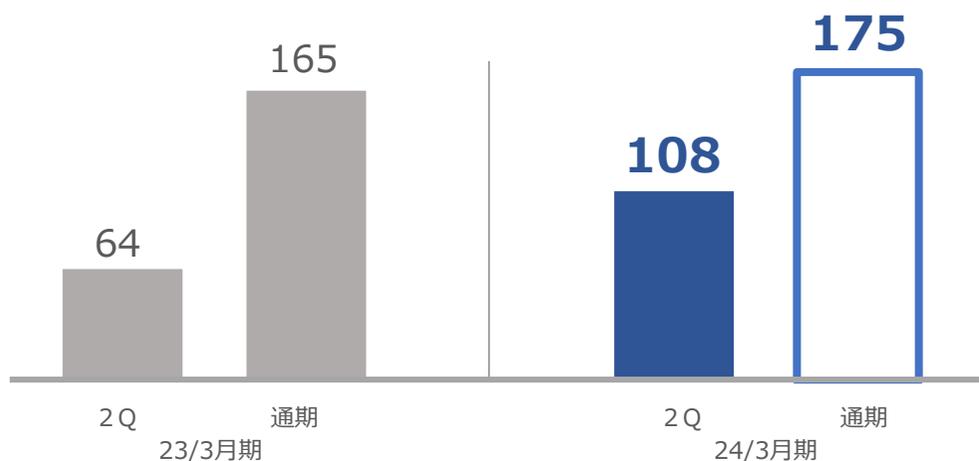
売上高

業績見通しの変更：なし (単位：億円)



営業利益

(単位：億円)



通期業績予想の達成に向けて

・エアセパレートガスの適正な価格転嫁と拡販

- ・ 電力料金の変動に沿った適正な価格転嫁
- ・ 自動車業界の復調による需要を取り込み、販売を強化

・液化水素の新規需要取り込み

- ・ 脱炭素に関連して、液化水素や設備投資の需要取り込みを進め、拡販を強化

・特殊ガスの事業拡大

- ・ ヘリウム需給ひっ迫が継続する中、安定供給に注力
- ・ 炭酸ガス等の販売を強化

・機械設備の拡販

- ・ 脱炭素・自動車関連等の成長分野向けの新規案件獲得に向けて注力

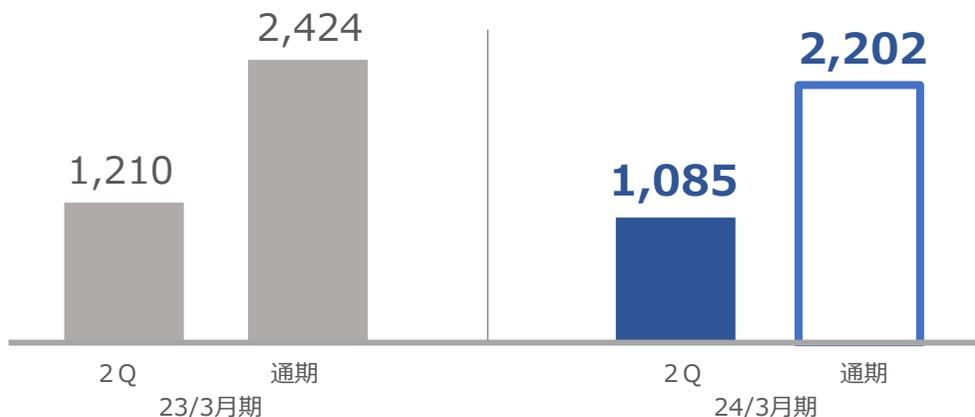
業績が変動する主な要因

- ・ 電力料金・LNG市況上昇による製造コストへの影響
- ・ 製造業の生産動向

マテリアル事業の見通し

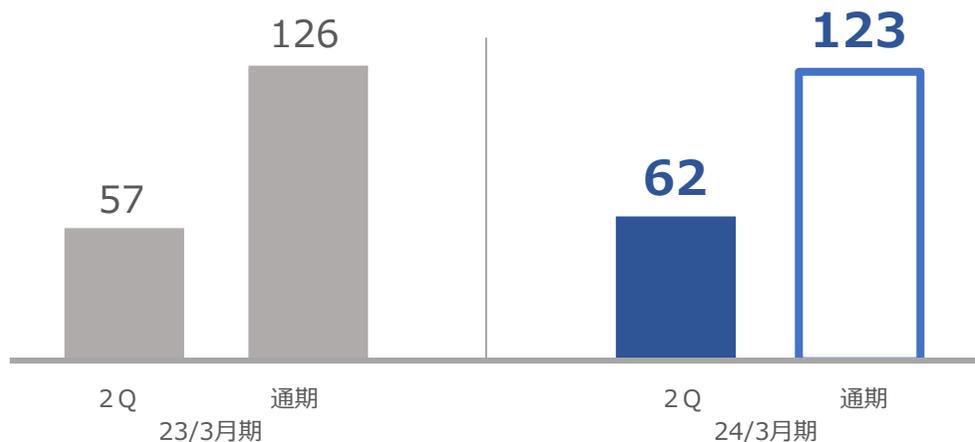
売上高

業績見通しの変更：なし (単位：億円)



営業利益

(単位：億円)



通期業績予想の達成に向けて

・鉱物資源事業の強化

- ・市況価格が下落傾向の中、調達数量の確保
- ・新たな権益獲得に向けた取り組みの推進

・環境ビジネスの強化

- ・低環境負荷PET樹脂・バイオマス燃料・二次電池材料の拡販
- ・リサイクル事業など、新たな取り組みの推進

・金属事業の拡大

- ・ステンレスの新規顧客への拡販
- ・海外金属加工事業の拡大

・先端材料の拡販

業績が変動する主な要因

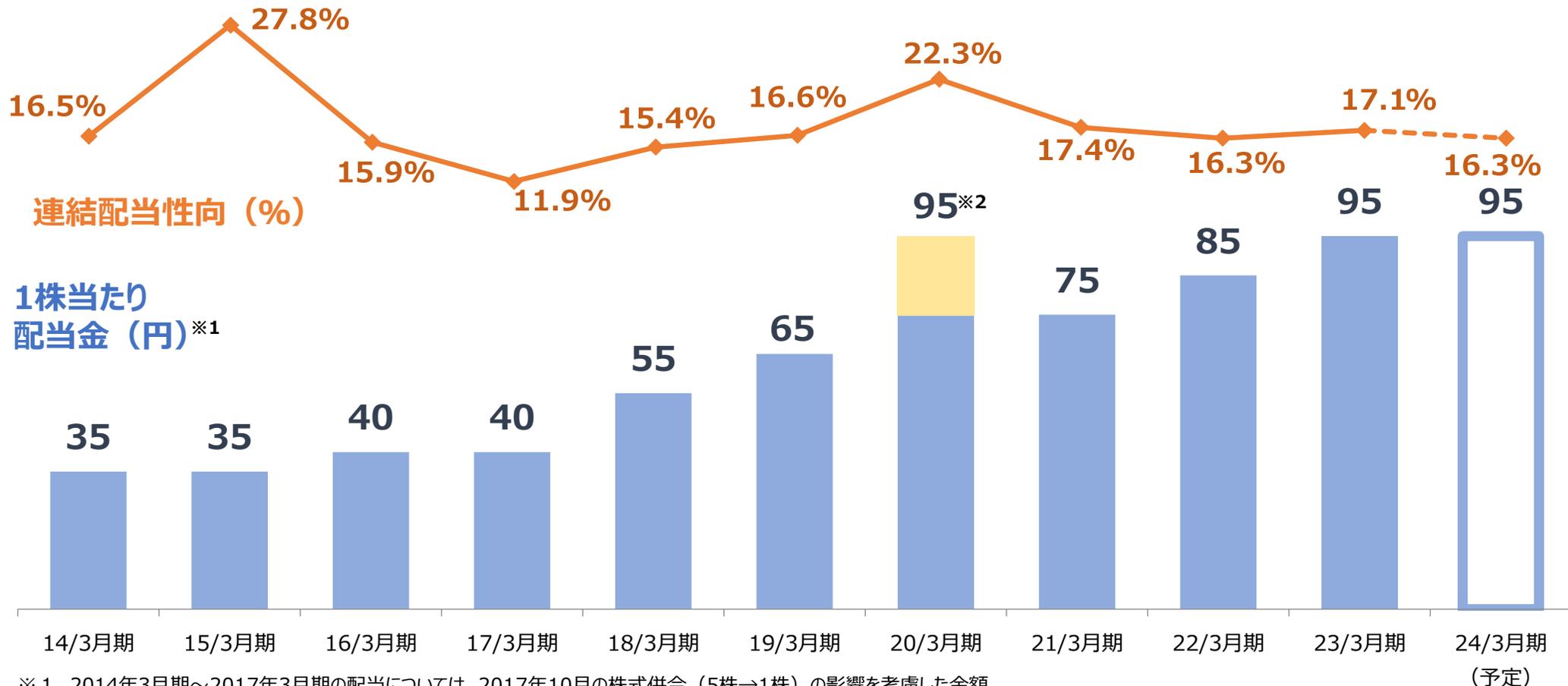
- ・資源市況の変動
- ・為替変動

株主還元について

▶ 2024年3月期は、1株あたり95円の配当を予定。

配当方針

- ・成長投資への資金配分を優先するも、利益の拡大に応じて着実に増配
- ・2027年度に配当性向20%以上を目標とする累進配当



※1 2014年3月期～2017年3月期の配当については、2017年10月の株式併合（5株→1株）の影響を考慮した金額

※2 うち記念配当20円含む

中期経営計画「PLAN27」の進捗

中期経営計画「PLAN27」の概要（2023～2027年度）

テーマ

水素エネルギー社会の実現に向けて

基本方針

「社会課題解決」と「持続的成長」に向けた事業拡大

▶ 経営数値目標

営業利益	650億円
ROE	10%以上
ROIC	6%以上

▶ 資本政策

5年間累計 投資額	4,700億円
株主還元	<p>配当性向20%以上 累進配当</p> <p><small>* 市況要因を除く当期純利益ベース 2027年度の目標値</small></p>

▶ 重点施策

- ① 水素戦略
- ② 脱炭素戦略
- ③ 国内エネルギー・サービス戦略
- ④ 海外戦略
- ⑤ 非財務戦略

中期経営計画「PLAN27」の進捗（重点施策）

水素戦略

つくる

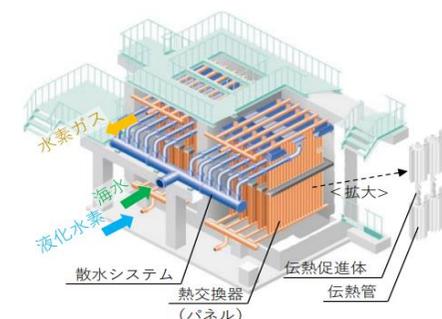
- ▶ 豪州・大規模グリーン水素サプライチェーン構築に向けた基本設計作業開始



豪州の水素製造拠点イメージ

はこぶ

- ▶ 三菱重工業(株)との液化水素昇圧ポンプの開発・販売の覚書締結
- ▶ 住友精密工業(株)との液化水素用オープンラック式気化器の共同開発契約の締結
- ▶ トーヨーカネツ(株)との大型液化水素貯槽に関する研究開発の助成金交付決定



液化水素用オープンラック式気化器

中期経営計画「PLAN27」の進捗（重点施策）

水素戦略

つかう

- ▶ 国内初、水素燃料電池船の旅客運航が決定し、建造開始
- ▶ 国内初、高速道路のサービスエリア・パーキングエリアに水素ステーションをオープン



大阪・関西万博で運航予定の水素燃料電池船

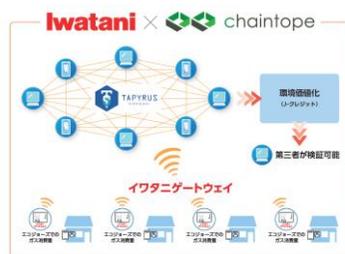


イワタニ水素ステーション足柄SA

中期経営計画「PLAN27」の進捗（重点施策）

脱炭素戦略

- ▶ 高効率ガス給湯器導入によるCO2削減効果を環境価値化し、J-クレジット制度の認証取得



CO2削減効果の価値化に向けた取り組みイメージ

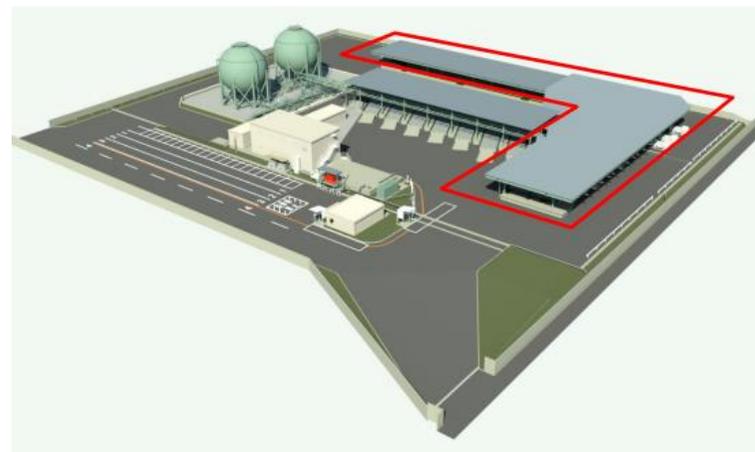
- ▶ 再生可能資源を利用したバイオマス原料を含む汎用樹脂が国内樹脂加工メーカーで採用



バイオマス汎用樹脂を使用したカトラリー製品

国内エネルギー・サービス戦略

- ▶ 根岸液化ガスターミナル内にLPガスシリンダー充填所の建設開始



LPガスシリンダー充填所 完成予想図(赤枠内)

LPガス直売顧客数（2023年9月末）

111万世帯
(対23年3月末比+1万世帯)

中期経営計画「PLAN27」の進捗（重点施策）

海外戦略

- ▶ 中国でのエアセパレートガス製造設備拡張
- ▶ 中国内陸部にヘリウムセンターを建設



エアセパレートガス製造設備(嘉興市)



ヘリウムセンター(孝感市)

- ▶ タイにカセットこんろ製造工場を設立



カセットこんろ製造工場(タイ)

非財務戦略

- ▶ TCFDのシナリオ分析結果を開示

シナリオ	2℃シナリオ	財務的な影響度
事業	総合エネルギー事業	
タイムフレーム	2050年	
主なリスクと機会	リスク ：脱炭素社会実現に向け、化石燃料賦存量や排出権取引などの政策や規制が導入され、消費者意識の変化が進み、化石燃料の需要が大きく減少する。	大
	リスク ：生産設備への自然災害による物理的被害が拡大する。	小
	機会 ：家庭部門での省エネや脱炭素の意識が高まり、エネファームやハイブリッド給湯器など、省エネ機器の需要が増加する。	中
	機会 ：災害対応・BCP対応の強化が進み、災害対応設備の需要が増加する。	小
	機会 ：グリーンLPガスの開発・普及を促進すれば、大きな事業機会になる。	大+

シナリオ分析の結果(弊社HP掲載)

- ▶ 企業内大学(イワタニ技術・保安大学)を開設



イワタニ技術・保安大学

Iwatani

<お問合せ先>

岩谷産業株式会社 経営企画部 IR担当

TEL : 03-5405-5706 FAX : 03-5405-5776
Webサイト : <https://www.iwatani.co.jp>